平成２０年度　農林水産省農林認定品種一覧

作物名	品種名	認定番号	旧系統名	申請機関（主となる育成機関）	主要特性
水稲	あきさかり	水稲農林４３２号	越南２０８号	福井県農業試験場(指定試験地)	多収で、食味が「コシヒカリ」と同等で極めて優れる。また、高温下での登熟でも玄米品質の劣化が少ない。
水稲	吟のさと	水稲農林４３３号	西海酒２５５号	（独）農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター	玄米の心白発現が良好で、酒造適性に優る。また、耐倒伏性が強く、多収である。
小麦	利根３号（仮称）	小麦農林１７０号	利根３号	群馬県農業技術センター（指定試験地）	「農林６１号」比べ多収で、製粉歩留、ミリングスコア及び縞萎縮病抵抗性に優れる。
だいず	あやみどり	だいず農林１３８号	東山青２１１号	長野県中信農業試験場（指定試験地）	種皮、臍、子葉が緑色で、子実の外観が良く、また、倒伏が少なく、最下着莢節位高が高い。
あずき	ほまれ大納言	あずき農林１７号	十育１５４号	北海道立十勝農業試験場（指定試験地）	風味が優れ、百粒重が大きいため、大納言小豆規格内歩留まりが高い。
びわ	なつたより	びわ農林６号	ビワ長崎１５号	長崎県果樹試験場（指定試験地）	大果で果肉が軟らかく、食味が優れ、ビワがんしゅ病に比較的強い。
とうもろこし	北交６５号	とうもろこし農林交６５号	北交６５号	（独）農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター	乾物中のTDN含量が高く、初期生育、耐倒伏性及びすす紋病抵抗性に優れる。
とうもろこし	なつむすめ	とうもろこし農林交６６号	九交１２８号	（独）農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター	南方さび病に強く、雌穂収量と栄養収量が高い。

水稲農林４３２号「あきさかり」（平成２１年３月２４日認定）

１．育成機関
福井県農業試験場　作物･育種部　（指定試験地）

２．来歴
育成期間：平成 9 年～平成 19 年　（11 年間）
交 配 親：北陸 159 号（あわみのり）×越南 173 号

３．主要特性
・多収である。
・食味が極めて優れる。
・高温での登熟でも玄米品質の劣化が少ない。

４．特性概要
（１）生育特性
・「コシヒカリ」に比べ、成熟期が 7 日遅い“晩生の早”である。
・稈長は「コシヒカリ」より 20cm 短く、草型は偏穂数型である。
・穂発芽性は“やや難”、耐冷性は“中”である。
・葉いもち抵抗性は“やや弱”、穂いもち抵抗性は“中”である。
・耐倒伏性は「日本晴」より強く“強”である。
・玄米千粒重は「コシヒカリと同等で、粒大は“中”である。
・収量性は「コシヒカリ」に比べ 7%高い。
（２）品質特性
・玄米の外観品質は「コシヒカリ」より優れる。
・高温下での登熟でも玄米品質の劣化が少ない。
・アミロース、タンパク含有率は「コシヒカリ」と同程度である。
・食味は「コシヒカリ」と同等で極めて優れる。

５．適地及び普及見込み先
適地：北陸および関東以西の地域
普及見込み先：福井県で平成 20 年奨励品種採用
（普及見込み面積 150ha）

６．予算区分
指定試験事業

系譜図

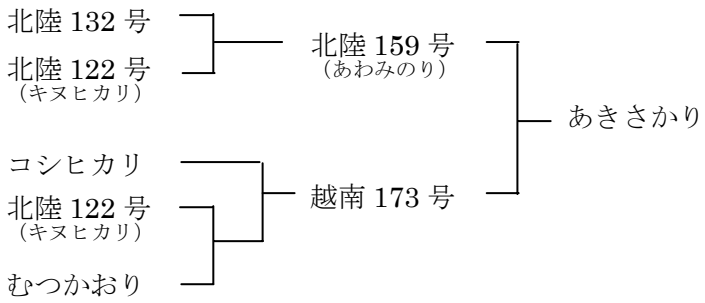


表１　生育特性（育成地、平成 15～19 年）

品種名	出穂期（月日）	成熟期（月日）	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	芒の多少長短	ふ先色	精玄米重 (kg/a)	玄米千粒重 (g)
あきさかり	8.08	9.16	76	18.0	479	稀・短	白	66.1	21.3
コシヒカリ	8.03	9.09	96	19.8	417	稀・短	白	62.0	21.1
日本晴	8.15	9.25	90	20.8	433	少・中	白	59.7	22.1

品種名	倒伏耐性	穂発芽性	耐冷性	いもち病遺伝子	病害抵抗性			
					葉いもち	穂いもち	白葉枯病	縞葉枯病
あきさかり	強	やや難	中	*Pia,i*	やや弱	中	弱	罹病性
コシヒカリ	弱	難	強	*+*	弱	やや弱	弱	罹病性
日本晴	やや強	やや易	弱	*Pia/+*	中	中	中	罹病性

表２　品質特性（育成地、平成 15～19 年）

品種名	玄米品質 *1	高温登熟での良質粒率(%) *2	アミロース含有率(%)	タンパク質含有率(%)	食味
あきさかり	3.3	57	16.4	6.2	極良
コシヒカリ	3.7	42	16.9	6.3	極良
日本晴	3.4	47	18.8	6.7	中

*1.品質は１（上上）～5（中中）～9（下下）として判定
*2.ハウスを用い、高温条件下で登熟させたときの良質粒率（平成 17～19 年）

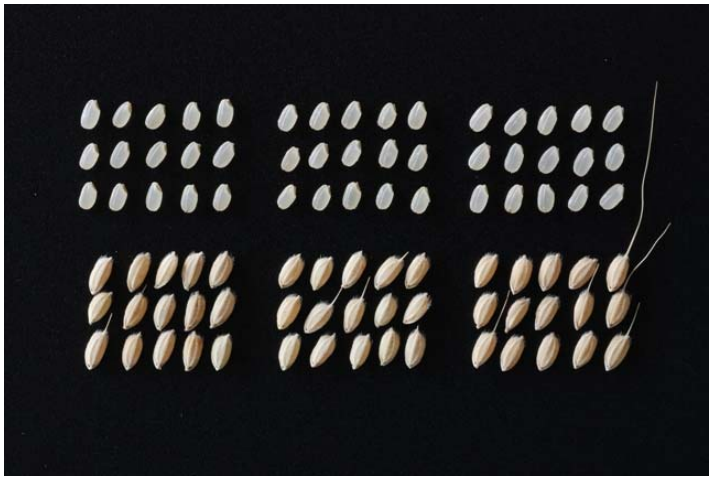
草　　姿

左「あきさかり」、中央「コシヒカリ」、右「日本晴」

立　　毛

左「コシヒカリ」、右「あきさかり」

籾　及　び　玄　米



左「あきさかり」、中央「コシヒカリ」、右「日本晴」

水稲農林４３３号「吟のさと」（平成２１年３月２４日認定）

１．育成機関

独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構
九州沖縄農業研究センター　稲育種ユニット

２．来歴

育成期間：1996 年～ 2006 年（11 年間）
交 配 親：山田錦／西海 222 号
旧系統名：西海酒 255 号

３．主要特性

・玄米の心白発現が良好で，酒造適性に優れる。
・耐倒伏性が強く、多収である。

４．特性概要

（１）生育特性

・出穂期、成熟期は、「山田錦」より 1 日程度遅く、暖地では「晩生の早」である。
・稈長は「山田錦」より 20cm 程度短く「レイホウ」並である。
・耐倒伏性は「山田錦」よりも明らかに優れ「強」である。
・玄米収量は「山田錦」より多収で「レイホウ」並かやや多収である。

（２）品質特性

・玄米の大きさは「山田錦」並の大粒である。
・酒米としての玄米品質は心白発現率が高く「山田錦」並に良好である。
・酒造特性（タンパク質含有率、吸水性）は「山田錦」に近く良好である
・清酒の官能評価（利き酒）の結果は、「山田錦」の清酒並に良好である。

５．栽培適地及び普及見込み先

適地：九州(平坦部)
普及見込み先：福岡県（筑後地域）で普及中
普及見込み面積　50ha
(JA 八女管内 45ha,久留米市田主丸地域認定農業者協議会:6ha)

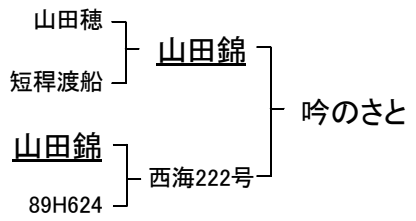
６．品種登録出願状況

平成 19 年　9 月 11 日　出願
平成 19 年 12 月 21 日　出願公表

７．予算区分

［委託費］１８年度「低コストで質の良い加工・業務用農産物の安定供給技術の開発」
実施課題名：暖地に適した加工適性の高い多収・直播適性品種および新規胚乳形質品種の育成

系譜図



注, 89H624:九系 679/西海 176 号//愛知 56 号(月の光)

表1 「吟のさと」の栽培特性(2002～2006；育成地)

品種名	出穂期（月.日）	成熟期（月.日）	稈長（cm）	倒伏 0:無-5:甚	耐倒伏性	玄米重（kg/a）	比較比率（%）	千粒重（g）
吟のさと	**8.31**	**10.18**	**78**	**0.5**	**強**	**52.0**	**107**	**26.3**
山田錦	8.30	10.19	103	3.8	弱	48.7	100	26.2
レイホウ	9.02	10.22	80	0.8	やや強	50.8	104	22.9

表2.「吟のさと」の酒造特性

品種名	心白発現率(%)	タンパク質含有率(%)	70%精米吸水率(%)		官能評価(利き酒)		
			20分	120分	総合	味	香り
吟のさと	**69.8**	**6.8**	**27.6**	**28.8**	**3.81**	**3.73**	**3.63**
山田錦	57.8	6.5	28.2	29.6	3.70	3.63	3.70

注）心白発現率，タンパク質含有率は育成地での調査
70%精米吸水率は福岡県工業技術センターでの調査
官能評価は、2006年に千代の園酒造で醸造した純米酒の値。1(悪い)～5(良い)の5段階評価の平均。

表3.　酒造会社((株)喜多屋における)醸造成績(2007)

品種名	アルコール分（%）	日本酒度	酸度	アミノ酸度	純アルコール収量(l/t)
吟のさと	**18.4**	**+4.5**	**1.88**	**1.57**	**386**
山田錦	17.7	+2.0	1.83	1.67	373
夢一献	17.5	+2.5	2.04	1.88	379

注）吟のさとは福岡県八女市産，山田錦は同JA糸島管内産，夢一献は同JA三潴産

草姿：左：吟のさと　　右：山田錦(倒伏)

稲株：左：山田錦　中：吟のさと　右：レイホウ

玄米及びその断面
左：山田錦　中：吟のさと　右：ヒノヒカリ

籾および玄米　左：吟のさと　右：山田錦

小麦農林１７０号「利根３号（仮称）」（平成２１年３月２４日認定）

１　育成機関

農林水産省小麦指定試験地
群馬県農業技術センター
環境作物部　普通作物第一係

２　来歴

育成期間：平成５年～平成２０年（16年間）
交 配 親：（東山25号（しゅうんよう）×西海168号（きぬいろは））Ｆ１
　　×ニシカゼコムギ

３　主要特性

・秋播性を有する早生である。
・縞萎縮病抵抗性は“強”である。
・通常アミロース含量である。

４　特性概要

（１）生育特性

・稈長は“やや短“で「農林61号」より短い。
・播性は“Ⅳ”、出穂期は“早”、成熟期はやや早”である。
・耐倒伏性は“強”で「農林61号」より強い。
・収量性は“やや多”で「農林61号」より多収である。
・縞萎縮病、うどんこ病、赤さび病抵抗性は“強”で「農林61号」より優れる。赤かび病抵抗性は“中”で「農林61号」と同程度である。

（２）品質特性

・製粉歩留及びミリングスコアは“やや高”で「農林61号」より優れる。
・アミロース含量は“通常”で農林61号と同程度である。
・うどんの官能評価では、粘弾性、滑らかさは「農林61号」と同程度である。

５　栽培適地及び普及見込み先

適地：温暖地東部の平坦二毛作を中心とした地域。
普及見込み先：群馬県、茨城県、埼玉県、栃木県で奨励品種に採用予定。
　　群馬県：４，０００ｈａ　埼玉県：１，０００ｈａ
　　茨城県：４，５００ｈａ　栃木県：　　５００ｈａ

６　品種登録出願状況

平成２０年１２月２４日

７　予算区分

指定試験事業

系譜図

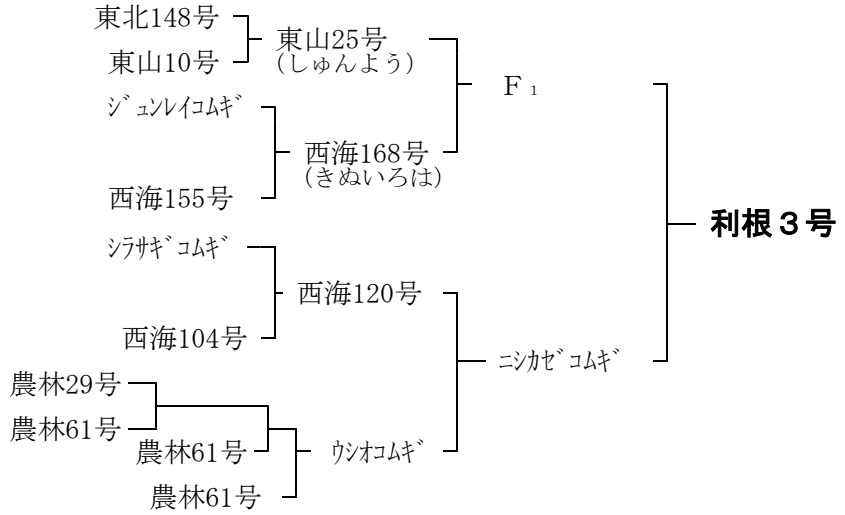


表１　生育特性（育成地　平成14～19年）

品種名 系統名	出穂期 月　日	成熟期 月　日	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/㎡	倒伏 程度	子実重 (Kg/a)	容積 重(g)	千粒 重(g)
利根３号	4.24	6.11	81	8.7	586	強	52.1	829	38.3
農林61号	4.26	6.15	94	8.7	519	やや弱	43.2	826	35.8

表２　特性検定（育成地　平成14～19年）

品種名 系統名	播性	穂発 芽性	うどんこ 病抵抗性	赤さび病 抵抗性	赤かび病 抵抗性	縞萎縮病 抵抗性	ｱﾐﾛｰｽ含量
利根３号	Ⅳ	難	強	強	中	強	通常
農林61号	Ⅱ	難	中	中	中	中	通常

表３　加工特性（製粉協会製粉研究所　平成17～18年）

品種名 系統名	製粉歩留 %	ﾐﾘﾝｸﾞ ｽｺｱ	めん官能評価 色	外観	硬さ	粘弾性	滑らかさ	食味	合計
利根３号	66.2	81.9	15.0	10.5	7.1	17.9	10.5	10.5	71.6
農林61号	63.0	78.2	14.0	10.5	7.0	17.5	10.5	10.5	70.0
ＡＳＷ	71.3	84.0	16.0	10.6	7.4	19.0	11.3	10.5	74.7

草　　姿

（左:きぬの波　　中央:利根3号　右:農林61号）

玄　麦　粒

（左:きぬの波　　中央:利根3号　　右:農林61号）

だいず農林１３８号「あやみどり」（平成２１年３月２４日認定）

１．育成機関

長野県中信農業試験場
畑作育種部（大豆育種指定試験地）

２．来歴

育成期間：平成６年～平成１９年　（１４年間）
交 配 親：東山系Ｔ７５１×東山系Ｒ９０５
旧系統名：東山青２１１号

３．主要特性

・種皮、臍、子葉が緑色で、子実の外観が良い。
・豆腐が淡緑色で、味に甘みがある。
・紫斑病とダイズモザイクウイルスに強く、紫斑粒と褐斑粒の発生が少ない。
・倒伏が少なく、最下着莢節位高が高い。

４．特性概要

（１）生育特性
・標播栽培で「信濃青豆」よりやや多収である。
・ダイズシストセンチュウに弱い。
（２）品質特性
・子実が大粒で、外観がよい。
・豆腐加工に適する。

５．栽培適地及び普及見込み先

適地：関東、東山、近畿地域
普及見込み：長野県で普及技術に採用（普及見込み面積30ha）
　　奈良県で準奨励品種に採用（普及見込み面積2ha）

６．品種登録出願状況

平成２０年４月２日　出願
平成２０年７月４日　名称変更届出
平成２０年８月26日　出願公表

７．予算区分

農林水産省委託事業（指定試験事業等）

系譜図

表１　生育特性　（長野県中信農業試験場、平成17～19年、標播栽培）

品種名	開花期	成熟期	主茎長	主茎節数	最下着莢節位高	生育中の障害 倒伏	蔓化	ウイルス	青立ち	収量 子実重	標準比
	（月．日）		（cm）		（cm）					（kg/a）	（%）
あやみどり	8.03	10.20	78	17.9	29	微	微	無	微	35.8	106
信濃青豆	7.31	10.13	78	16.1	17	微	少	無	少	33.8	100

表２　品質特性　（長野県中信農業試験場、平成17～19年、標播栽培）

品種名	障害粒程度 紫斑	褐斑	裂皮	粒形	子実の色 種皮	臍	子葉	品質	百粒重（g）	子実成分（%） 蛋白質	脂肪	全糖
あやみどり	無	無	微	扁球	緑	緑	緑	中上	40.1	41.8	19.9	22.2
信濃青豆	無	無	微	扁球	緑	黒	緑	中中	38.6	41.9	19.3	23.1

表３　病虫害抵抗性、機械収穫適性および加工適性

品種名	病虫害抵抗性 ﾀﾞｲｽﾞﾓｻﾞｲｸ病	ﾀﾞｲｽﾞｼｽﾄｾﾝﾁｭｳ	黒根腐病	紫斑病	機械収穫適性 耐倒伏性	裂莢性	豆腐加工適性（官能評価） 外観	甘味	こく	硬さ	弾力性	総合評価
あやみどり	極強	弱	やや弱	極強	やや強	中	3.9	3.6	3.7	2.6	2.7	3.9
信濃青豆	強	弱	弱	強	中	中	3.1	3.0	3.3	2.3	2.4	3.1

注）加工適性は育成地の評価（平成18年産）。標準品種タチナガハを3とし、数値が大きいほど良い傾向を示す。

草　　姿

（標播栽培）

（晩播栽培）

左：「あやみどり」、右：「信濃青豆」
（平成18年長野県中信農業試験場産）

子　　実

左：「あやみどり」、右：「信濃青豆」
（平成18年長野県中信農業試験場産）

あずき農林１７号「ほまれ大納言」（平成２１年３月２４日認定）

１．育成機関
北海道立十勝農業試験場　作物研究部　小豆菜豆科

２．来歴
育成期間：平成９年～平成１９年（１１年間）
交 配 親：十系701号×十系697号
旧系統名：十育154号

３．主要特性
・落葉病・茎疫病(レース1、3)・萎凋病抵抗性である。
・風味が優れ、加工適性が「アカネダイナゴン」以上である。
・百粒重が「アカネダイナゴン」より10%以上重く、大納言小豆規格内歩留りが高い。
・「ほまれ大納言」の名称の由来は、病害抵抗性、大粒、良質性により高品質な道産大納言小豆の安定供給に貢献し、誉れ高い品種となってほしいことを表現したものである。

４．特性概要
（１）生育特性
・成熟期は、「アカネダイナゴン」「ほくと大納言」と同程度である。
・大納言規格内子実重は「アカネダイナゴン」以上である。
・主茎長、主茎節数は「アカネダイナゴン」と同程度、分枝数はやや少なく、熟莢色は「アカネダイナゴン」「ほくと大納言」の極淡褐に対し、褐である。
・落葉病、萎凋病抵抗性は“強”、茎疫病抵抗性は“かなり強”である。

（２）品質特性
・百粒重は「アカネダイナゴン」より重く、「ほくと大納言」より軽い。
・種皮色は「アカネダイナゴン」の“濃赤”、「ほくと大納言」の“淡赤”に対し、“赤”である。
・加工適性は「アカネダイナゴン」以上で、特に風味に優れる。

５．栽培適地及び普及見込み先
適地：北海道の道北・道央・道南の大納言小豆品種栽培地帯
普及見込み：北海道で優良品種に採用（許諾件数１件）
（普及見込み面積　500ha）

６．品種登録出願状況
平成20年5月9日　出願
平成20年8月5日　出願公表

７．予算区分　指定試験

系譜図

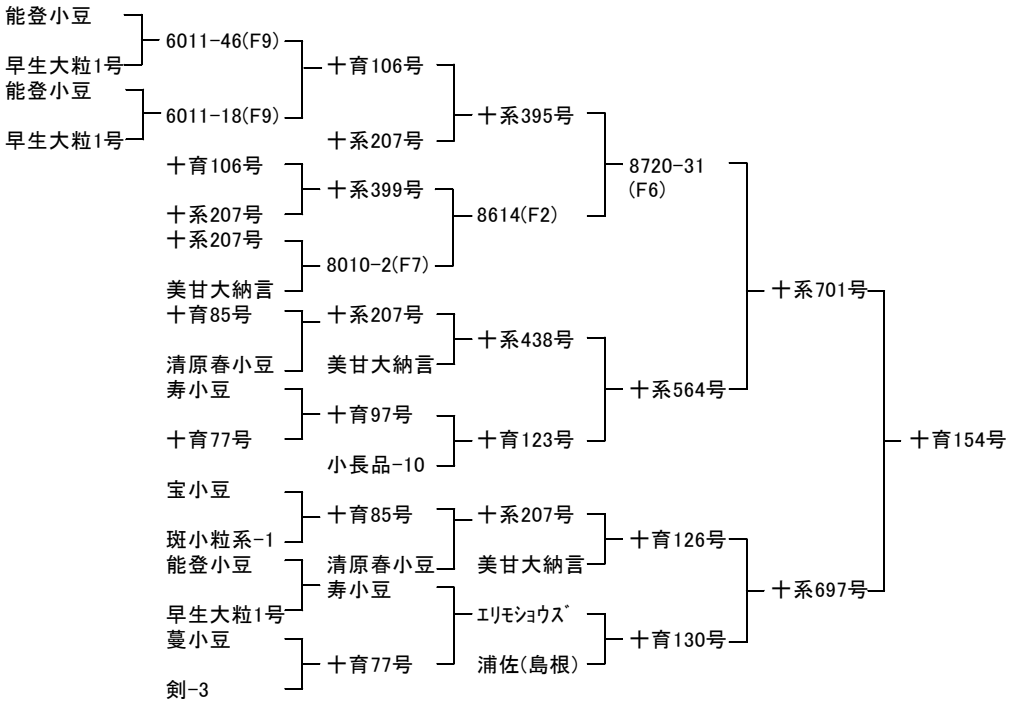


表１　生育特性　（中央農試、道南農試　平成16-19年）

品種名又は系統名	成熟期(月日)	主茎長(cm)	主茎節数	分枝数(/株)	子実重1(kg/10a)	比(%)	子実重2(kg/10a)	比(%)	熟莢色	抵抗性 落葉病	茎疫病	萎凋病
十育154号	9.11	64	14.4	3.2	279	91	262	106	褐	強	かなり強	強
ｱｶﾈﾀﾞｲﾅｺﾞﾝ	9.12	64	14.1	4.6	306	100	248	100	極淡褐	弱	弱	弱
ほくと大納言	9.10	59	11.9	4.6	269	88	258	104	極淡褐	弱	弱	弱

注)子実重1:粗子実重、子実重2:大納言規格内子実重(5.5mm篩上)。

表２　品質特性

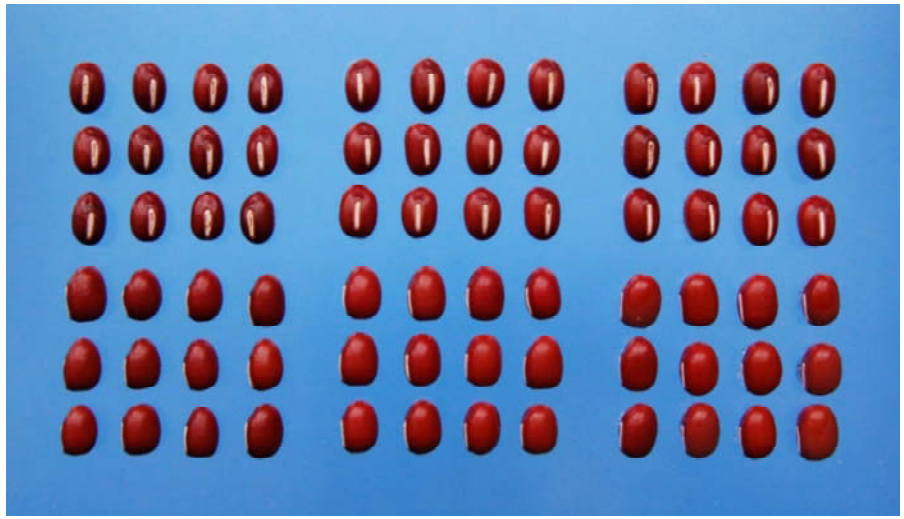
種名又は統名	百粒重(g)	検査等級	雨害粒率(%)	種皮の地色	製品試作試験における風味の評価 A社(つぶアン) H18産	H19産	B社(甘納豆) H17産	H18産	H19産
十育154号	18.3	3下	5.3	赤	○	○	○	○	○
ｱｶﾈﾀﾞｲﾅｺﾞﾝ	16.4	4中	－	濃赤	－	□	□	□	□
ほくと大納言	19.8	4上	29.4	淡赤	□	◎	－	－	－

注)雨害粒率は発生した現地等5箇所の平均。製品試作試験材料の産地は、H17:中央農試(空知管内長沼町)、H18:空知管内栗山町、H19:檜山管内厚沢部町。評価の□は標準

成　熟　期　の　草　姿

（左：「アカネダイナゴン」、中：「ほまれ大納言」、
右：「ほくと大納言」）

子　　実



（左：「アカネダイナゴン」、中：「ほまれ大納言」、
右：「ほくと大納言」）

びわ農林６号「なつたより」（平成２１年３月２４日認定）

１．育成機関
長崎県果樹試験場育種科
（農林水産省びわ育種指定試験地）

２．来歴
育成期間：平成2年～19年　（17年間）
交 配 親：長崎早生×福原早生
旧系統名：ビワ長崎15号

３．主要特性
・「茂木」よりやや早く成熟する。
・果実重は約60ｇで「茂木」よりも大果である。
・果肉が軟らかく、食味が優れる。
・ビワがんしゅ病に比較的強い。
・名称は初夏の訪れを告げる品種であることをイメージして命名した。

４．特性概要
（１）生育特性
・樹勢は強く、樹姿はやや直立である。
・着花率は中心枝、副梢ともに高いため収量が多く豊産性である。
・ビワがんしゅ病Cグループ菌には罹病性であるがAおよびBグループ菌には抵抗性である。

（２）品質特性
・熟期は5月下旬で「茂木」よりやや早く成熟する。
・果実は短卵形で、果皮および果肉は橙黄色である。
・果実重は約60ｇで、「茂木」よりも大果である。
・果肉は柔軟多汁で、「茂木」よりも糖度が高く食味は良好である。
・果皮障害は概ね少なく、外観良好である。

５．栽培適地及び普及見込み先
適地：西日本のびわ栽培地域
普及見込み：長崎県、鹿児島県、香川県（普及見込み面積　200ha）

６．品種登録出願状況
平成20年3月24日　出願
平成20年7月11日　出願公表

７．予算区分
指定試験事業、「大果・高品質・良食味、早熟、高日持ち性、病害抵抗性、機能性成分高含有のびわ品種の育成」

系譜図

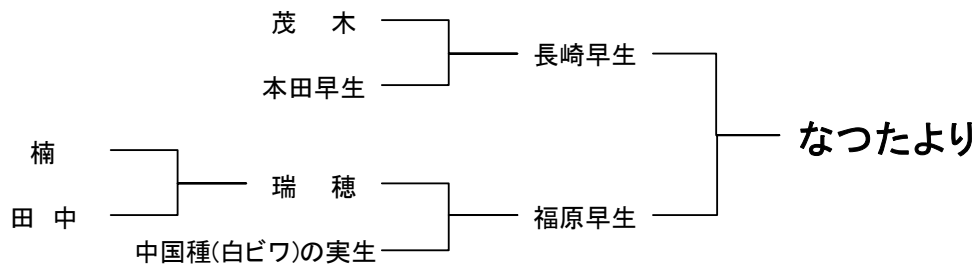


表１　生育特性　（長崎果樹試、平成18～19年）

品種･系統	樹勢	樹姿	幹周	着花率		収量	がんしゅ病抵抗性		
				中心枝	副梢		A	B	C
			(cm)	(%)	(%)	(kg/樹)			
なつたより	強	やや直立	25.1	77	65	7.9	R	R	S
茂木	やや強	直立	17.1	73	56	2.6	S	S	S

注）平成19年時の樹齢はともに6年生。ＲおよびＳはそれぞれ抵抗性および罹病性。

表２　果実特性　（長崎果樹試、平成18～19年）

品種･系統	熟期	果形	果実重	果肉硬度	食味	糖度	酸含量	果皮障害				
								へそ黒症	そばかす症	裂果	紫斑症	緑斑症
	(月.日)		(g)			(%)	(g/100ml)					
なつたより	5.28	短卵	61.9	やや軟	やや良	12.3	0.20	無	中	無	無～中	無
茂木	6. 3	長卵	44.7	やや硬	中	11.8	0.22	軽～中	軽～中	無	無～中	無

びわ「なつたより」の結実状況

びわ「なつたより」の果実

とうもろこし農林交６５号「北交６５号」（平成２１年３月２４日認定）

１．育成機関

独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構
北海道農業研究センター寒地飼料作物育種研究チーム

２．来歴

育成期間：平成 13 年～ 19 年　（７年間）
交 配 親：Ho102 × Ho95
旧系統名：北交６５号

３．主要特性

・同熟期の標準品種と比較して、乾物中の TDN 含量が 2 ～ 2.5 ポイント高い。
・初期生育、耐倒伏性およびすす紋病抵抗性に優れている。

４．特性概要

（１）生育特性

・熟期は、北海道では「35G86」並の"晩生の早"に属し、東北地域では「36B08」並の"早生"に属する。
・発芽期は標準品種並か１日早い。初期生育は標準品種より優れている。
・乾物総重は、北海道では標準品種より 3 ～ 5%、東北地域では標準品種より 2%高い。TDN 収量は北海道では標準品種並で、東北地域では標準品種より 5%高い。

（２）品質特性

・酵素法による高消化性繊維の割合（Oa/OCW）、乾物中のデンプンおよび粗脂肪含量は、いずれも標準品種より高く、TDN 含量も高い。

５．栽培適地及び普及見込み先

適地：北海道の道央中部（上川を除く）、道央南部および道南地域、ならびに青森県、岩手県および宮城県
普及見込み：北海道で奨励品種に採用
（普及見込み面積　800ha）

６．品種登録出願状況

平成 20 年６月　９日　出願
平成 20 年８月 26 日　出願公表

７．予算区分

［運営費交付金］212-c.2　大規模草地・飼料畑の活用のための高 TDN 飼料作物品種の育成
［委託費］18・19 年度「粗飼料多給による日本型家畜飼養技術の開発委託事業」「寒地向き高 TDN とうもろこし品種の育成」

系譜図

Ｈｏ１０２
Ｈｏ９５
→ **北交６５号**（一代雑種）

表１　生育特性

（10 場所のべ 35 試験の平均、2003 ～ 2007 年）

形　質	北　海　道			東北地域	
	北交65号	35G86(標準)	36B08(比較)	北交65号	36B08(標準)
絹糸抽出期（月日）	8. 8	8. 9	8. 7	8. 1	7.31
初期生育(1～9)[1]	7.3	6.2	6.2	7.5	6.9
稈長（cm）	245	271	226	248	221
着雌穂高（cm）	107	127	106	107	97
倒伏個体率（%）[2]	22.0	40.7	21.4	4.5	4.5
乾物総重（kg/a）[3]	193.3 (95)	204.4 (100)	197.5 (97)	185.9 (102)	182.6 (100)
TDN 収量（kg/a）[3,4]	125.8 (99)	127.6 (100)	125.3 (98)	123.8 (105)	118.5 (100)
乾物率（%）	30.2	30.8	30.7	33.6	35.4
乾雌穂重割合（%）	54.0	51.2	52.9	61.1	60.9
すす紋病罹病程度(1～9)[5]	3.0	3.2	2.8	―	―
ごま葉枯病罹病程度(1～9)[5]	2.3	2.4	2.4	―	―

1）1:極不良～9:極良の評点　　2）発生がみられた試験の平均
3）（　）内は、北海道では対「35G86」比(%)、東北地域では対「36B08」比(%)
4）各試験における茎葉および雌穂収量と育成地における各消化性分画含量から算出
5）北農研における接種検定の成績、1:無～9:甚の評点

表２　品質特性　（単位：%）

（北農研、2004 ～ 2007 年）

品種名	OCC+Oa	Oa/OCW	デンプン	粗タンパク	TDN
北交65号	58.1	15.6	27.9	7.5	66.3
35G86	53.5	12.9	24.9	6.7	63.7
36B08	55.1	13.1	26.5	7.5	64.6

注）OCC+Oa:高消化性成分の合計、Oa/OCW:繊維成分の消化性
TDN:可消化養分総量

草　　姿

雌　　穂

とうもろこし農林交６６号「なつむすめ」（平成２１年３月２４日認定）

１．育成機関

独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構
九州沖縄農業研究センター周年放牧研究チーム

２．来歴

育成期間：平成１３年～１９年（７年間）
交 配 親：Mi91 × Na50
旧系統名：九交１２８号

３．主要特性

・南方さび病に強い。
・雌穂収量と栄養収量が高い。
・品種名称は、晩播・夏播き用の優れたＦ$_1$（娘）品種であることを表す。

４．特性概要

（１）生育特性

・晩播栽培における乾物総重、乾雌穂重および乾雌穂重割合は「3470」より高い。
・夏播き栽培における乾物総重は「SH9904」並であるが、乾雌穂重と乾雌穂重割合は「SH9904」より高い。
・南方さび病抵抗性は「3470」および「SH9904」より強い。
・耐倒伏性は「3470」および「SH9904」並かそれより優れる。

（２）品質特性

・晩播栽培および夏播き栽培における地上部全体の推定 TDN 含量および TDN 収量は、それぞれ「3470」および「SH9904」より高い。

５．栽培適地及び普及見込み先

適地：晩播栽培では九州全域、夏播き栽培では九州地域のワラビー萎縮症が発生していない地域
普及見込み：（社）日本草地畜産種子協会から許諾申請予定
（普及見込み面積 40ha）

６．品種登録出願状況

平成２０年　６月　９日　出願
平成２０年　８月２６日　出願公表

７．予算区分

［運営費交付金］212-d-05-4　地域条件を活かした健全な家畜飼養のための放牧技術の開発
［委託費］１８～１９年度「粗飼料多給による日本型家畜飼養技術の開発（えさプロ）」「暖地の晩播・夏播き向き南方さび病抵抗性・高ＴＤＮとうもろこし品種の育成」

系譜図

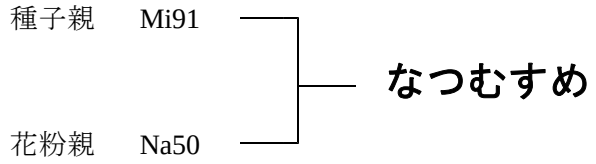


表１　生育特性

（佐賀、熊本、宮崎、鹿児島
九沖農研（都城）2004-2007 年）

	晩播栽培		夏播き栽培	
	なつむすめ	3470	なつむすめ	SH9904
絹糸抽出期	６月９日	６月９日	８月１日	８月１日
乾物総重(kg/a)	137.7（114）	120.7（100）	144.3（102）	141.1（100）
乾雌穂重(kg/a)	63.0（124）	50.8（100）	70.9（142）	49.9（100）
南方さび病[1)2)]				
罹病程度	1.9	3.7	1.9	2.7
倒伏個体率(%)[1)]	33.3	44.4	33.3	45.0

1)発生した試験の総平均。2）罹病程度は 1：無～ 9：甚による評点。

表２　品質特性

（九沖農研（都城）2004-2007 年）

	晩播栽培		夏播き栽培	
	なつむすめ	3470	なつむすめ	SH9904
茎葉 TDN 含量(%)	56.6	53.8	60.6	60.6
雌穂 TDN 含量(%)	84.0	83.8	80.9	83.1
総体 TDN 含量(%)	68.7	65.9	70.7	68.3
TDN 収量(kg/a)	95.1（119）	80.1（100）	102.8（106）	97.1（100）

TDN 含量は近赤外分析および子実重割合による推定値。

草　　姿

雌　　穂

（左：「なつむすめ」、右：「３４７０」）